

旅行・観光消費動向調査の概要

目的

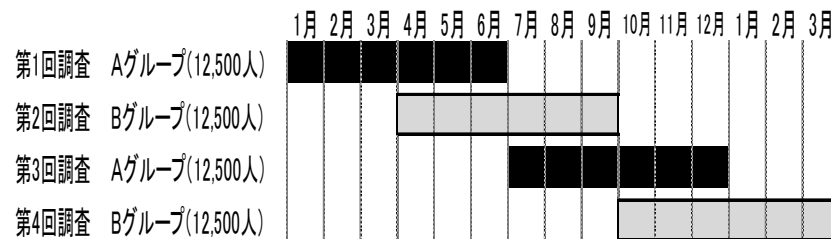
我が国における旅行・観光消費額を把握することにより、旅行・観光の経済波及効果の推計及び分析や、我が国の観光政策の企画・立案のための基礎資料等に資することを目的とする。

概要

日本国民の国内・海外旅行の実施状況、旅行消費額等を把握するため、年間25,000人に対して調査を実施。同調査から得られるデータを基に我が国の旅行・観光消費額を推計するとともにT S Aを作成する。

- ◆ 調査時期：四半期毎
(1~6月、4~9月、7~12月、10~3月)
- ◆ 調査対象：住民基本台帳から無作為抽出した日本国民
- ◆ 調査方法：郵送による配布・回収
- ◆ サンプル数：50,000 (25,000人×2回)
- ◆ 調査項目

【調査時期イメージ】25,000人に対して半年毎に2回調査を実施



属性

性・年齢 等

+

旅行行動

旅行回数【宿泊・日帰り・海外旅行】 等

+

消費実態

【項目×支出額】 等

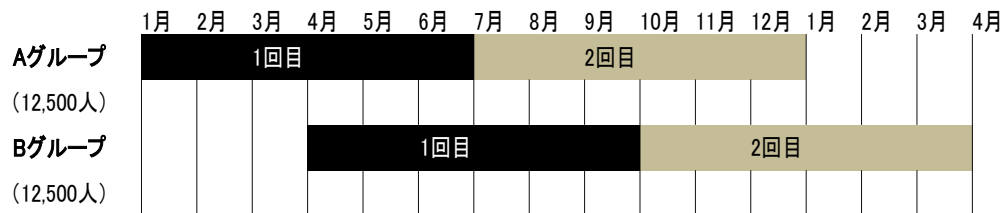
効果

- 日本人の品目別旅行・観光消費額、旅行目的ごとの年間の平均旅行回数及び平均宿泊数等を把握することにより、日本国民の旅行動向の実態を把握できる。
- U N W T O が提唱する T S A (Tourism Satellite Accounts : 旅行・観光サテライト勘定) の作成に活用することにより、旅行・観光産業の生産額や付加価値等の国際比較が可能。

旅行・観光消費動向調査の調査方法の課題と見直し内容

調査方法の課題

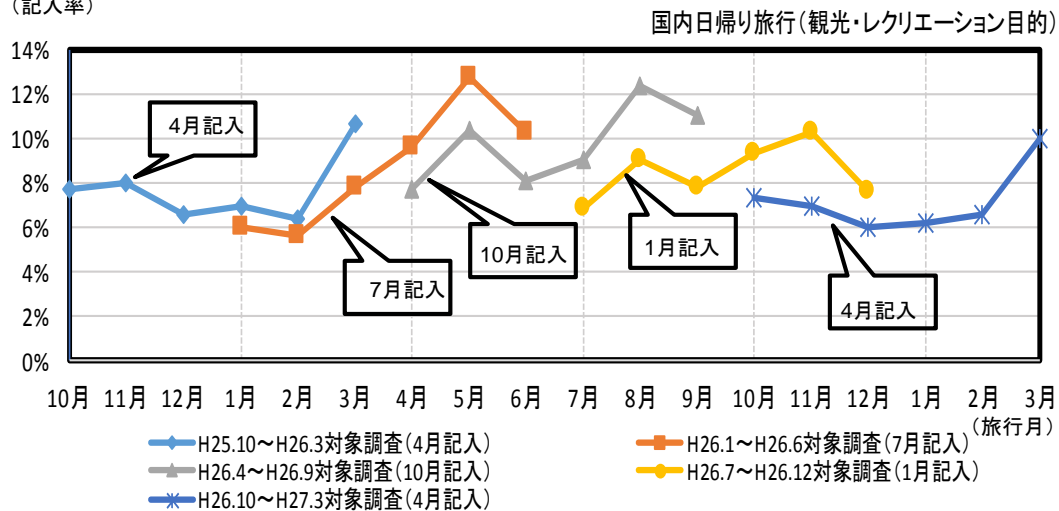
【現行の調査方法】



【旅行・観光消費動向調査における記入率】

(記入率: 対象期間中に1回以上旅行したと回答した人の割合)

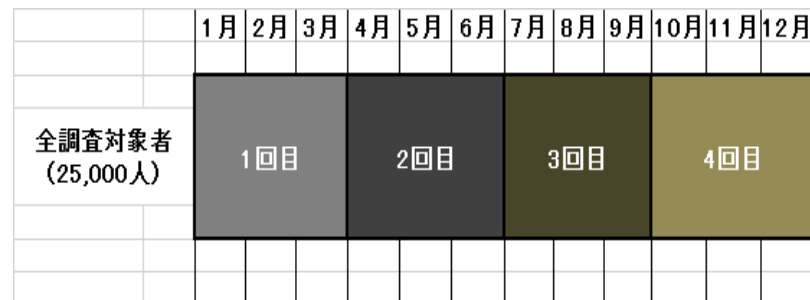
(記入率)



上のグラフのように、同じ月に行った旅行でも、調査時期から遠いほど記入率が低くなる傾向が見られる

見直し内容

【調査周期の見直し】

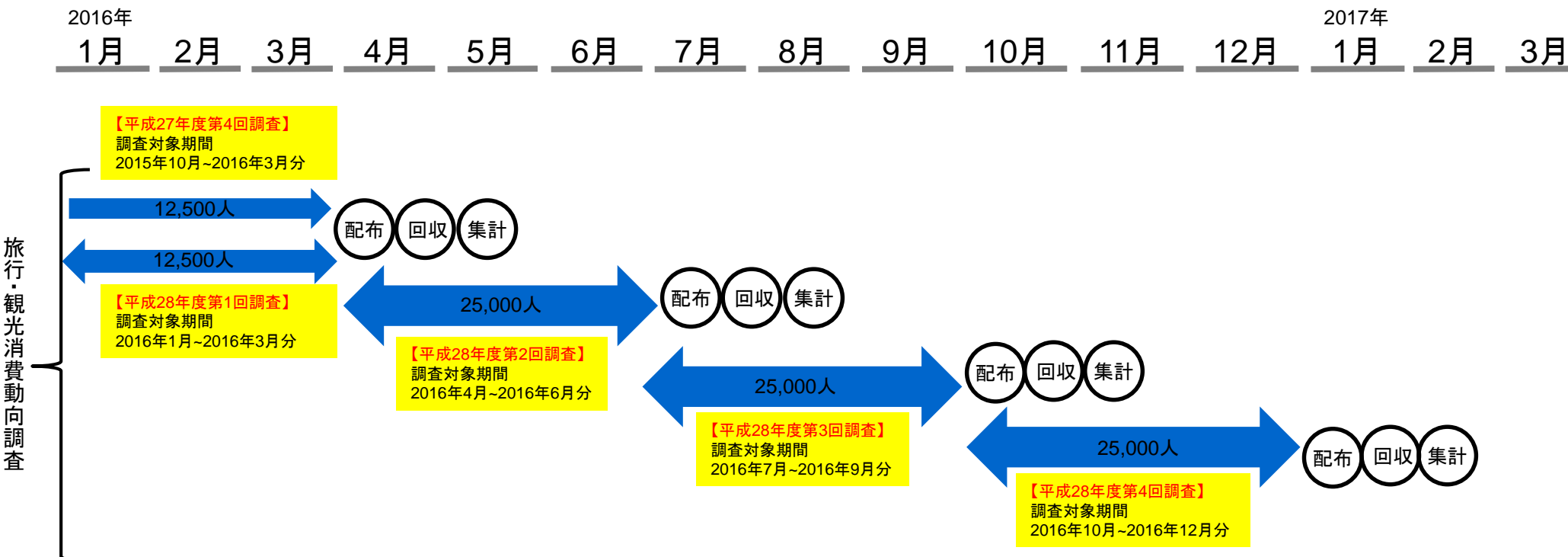


調査対象期間を6ヶ月周期(年2回)から3ヶ月周期(年4回)とし、忘却による影響を小さくする。

平成28年1-3月期から実施

旅行・観光消費動向調査(実査スケジュール)

○調査対象者は年間通じて、一人4回回答してもらう(4月調査(対象期間1~3月)、7月調査(対象期間4~6月)、10月調査(対象期間7~9月)、1月調査(対象期間10~12月))
 ただし、今年度については、4月調査には前年度からの継続分(前年10月~3月が対象)が含まれる。
 ○各方面からの公表早期化の要請を踏まえ、調査対象期間の約2ヶ月以内に速報値を公表。



速報性重視



t 年1~3月分
把握(速報値)



t 年4~6月分
把握(速報値)

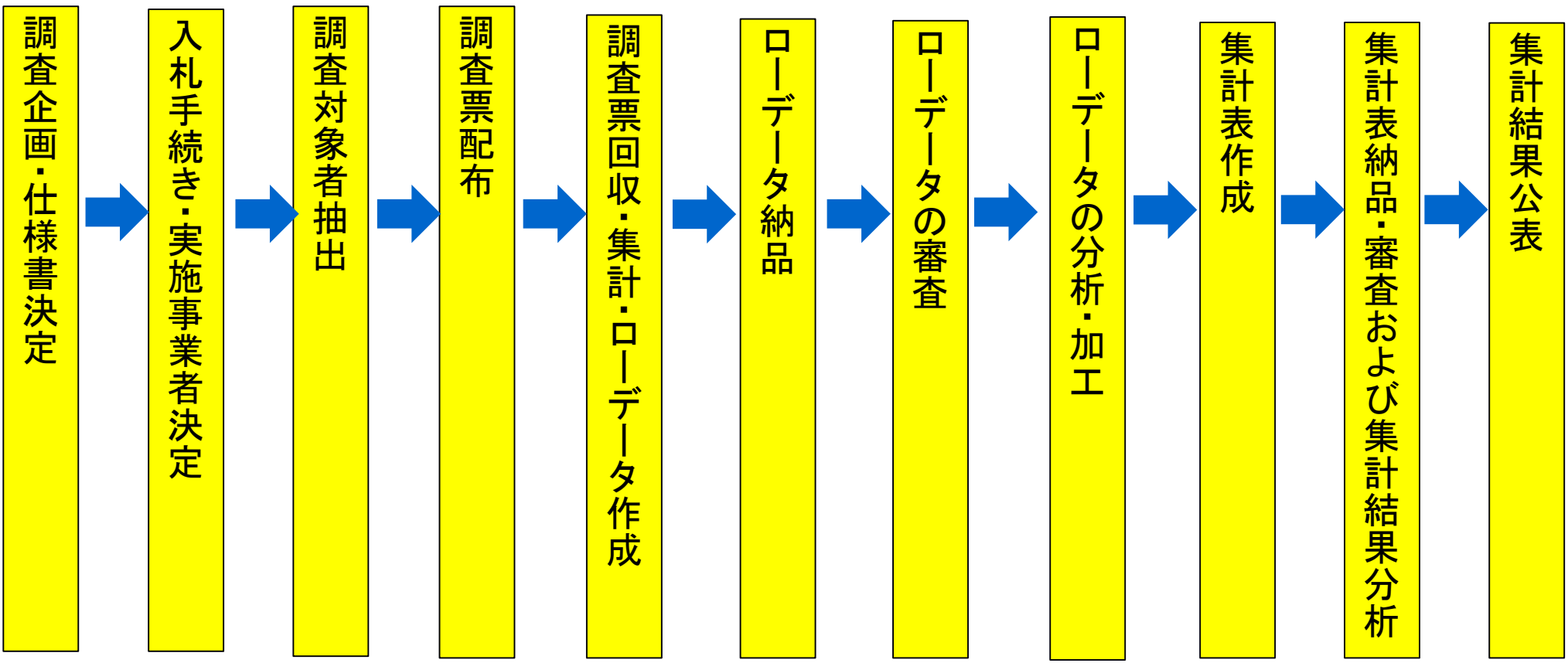


t 年7~9月分
把握(速報値)



t 年10~12月分
把握(速報値)

旅行・観光消費動向調査の流れ



実査業務(本業務)にて実施

分析業務
(旅行・観光による経済効果等に関する調査研究)
にて実施

平成22年度業務以降の主な見直し事項及び今後の見直し予定

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
主 な 見 直 し 事 項	○調査対象サンプル数の拡大 ※年間15,000サンプル → 50,000サンプル	○意識調査の追加	○調査設問（「職業」）の追加		○オンライン調査を試験的に実施（2014年度第1回調査）	○オンライン調査の本格実施	○調査周期の見直し ※6ヶ月周期（年2回） → 3ヶ月周期（年4回）	○調査設問の追加を検討中

今後の見直し事項については、毎年開催する観光統計の整備に関する検討会において、学識経験者等の意見を踏まえて検討を行う。